

日時 校時 クラス	教科	単元名・題材名
6月20日5校時 1年1組31名	国語	単元名：6ねんせいに つぼみくいを だそう 教材名：つぼみ
本時のねらい	・「つぼみ」を読んで学習したことを生かして、はすを説明する文章を書くことができる。	
評価規準 【評価方法】	・友達の文章を読みながら、自分と同じところや真似したいところを見付けている。【観察・説明カード】 ・友達と話し合ったことを生かして文章に表し、クイズを完成させている。【観察・説明カード】	
展開	学習活動	・留意事項 ◇評価
めあて の設定 (2分) ②	・学習リーダーを中心に、単元のゴールと単元計画を振り返り、本時のめあてを確かめる。 ② ぶんのしくみをかんがえて、はすの「つぼみくいず」をかんせいさせよう。	・前時に、チームごとに文章を分担して、一人一人が説明カードの下書きを作成している。 ・本時の前に、「つぼみの様子」「つぼみの開き方」「花の様子」のグループごとの座席にしておく。
解決の 見通し (3分) ③	・友達との話し合いの仕方を確認する。 青…自分と同じ。似ている。 緑…どうということ？もっとくわしく。 赤…いいね！まねしたい！ 色鉛筆で線を引く。	・学習リーダーが黒板の前で手本を示し、活動の見通しをもたせる。
集団 解決 (20分) ④	・グループごとに、友達の書いた文章を読み合い、3色マーカー（色鉛筆）を使いながら話し合う。	・「つぼみの様子」「つぼみの開き方」「花の様子」ごとに、グループの友達の文章を読んで話し合う。 ・緑の線を引いている児童には、「どうしてそう思ったの？」「何を付け足すといいの？」と声を掛け、線だけでなく言葉でも書き込めるようにする。 ◇自分と同じところや友達の表現のよいところを見付けている。【観察・説明カード】
自力解決 (10分) ⑤	・話し合ったことを生かして、文章を書く。	・3色マーカー（色鉛筆）の線や友達からのコメントを参考にしながら書いている児童を取り上げ、価値付ける。
価値の 共有 (5分)	・クイズのチームで集まり、各自が作成した説明カードを並べて全体を文章を確認する。	◇文の仕組みを考えながら、説明カードを並べることができる。【観察】
振り返り (5分) ⑥	・学習リーダーを中心に、学習の振り返りと次時の活動内容を確認する。	・本時まで学習したクイズの作り方をもとに、次時は自分が選んだ花でつぼみクイズを作ること確かめる。